

【相談】



ハンドタップの「サキ」「ナカ」「アゲ」は、何が違うのですか？
使い勝手は、どのように違うのですか？ なるべく簡単に教えて下さい。

【回答】

「サキ」は、「先」と書くんだよ。また、「ナカ」は「中」
「アゲ」は「上げ」と書くんだよ。
タップの食付きの長さの違いを表す言葉だね。



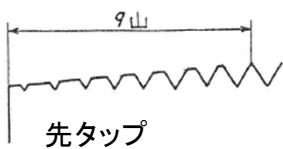
【解説】



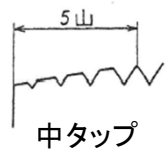
上の写真は、ハンドタップの「中」タップだよ。
食付き部とは、ねじ山が傾斜に研磨された先端の部分だね。
タップは食付き部が、ねじ山を切っていくんだよ。
食付き部の山数は、「先」「中」「上げ」で違ってくるんだ。



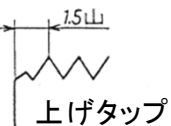
食付き部の長さ



「先タップ」の食付き部長さは、「9山」になります。
食付き性が良好なので、手回しで慎重に加工する時は、一番先に使われます。
そのため、「先タップ」と呼ばれます。
しかし、加工されたためねじの奥側の9山分は、不完全なねじになってしまいます。
でも、通り穴を加工する時は、使いやすいタップと言えます。



「中タップ」の食付き部長さは、「5山」になります。
先タップに次いで食付き性が良好なタップです。
中タップで加工されたねじの奥側の5山分は、不完全なねじになります。
止り穴加工を行う時は、先→中→上げの順番で使われます。
先タップと上げタップの中間で使われるので「中タップ」と呼ばれます。



「上げタップ」の食付き部長さは、「1.5山」になります。
食付き性は良くないので、最初から上げタップで手回し加工は難しいと言えます。
止り穴加工で、ねじ奥まで完全なねじに仕上げるとき使用するタップになります。
止り穴の仕上げ加工に用いられるので、「上げタップ」と呼ばれます。



最近は、機械でタップ加工するから、通り穴でも「中タップ」を使用する時は多いね。
また、止り穴加工の時も、最初から「上げタップ」を使用する場合があるね。
「先タップ」「中タップ」「上げタップ」の「食付き長さの違い」と「食付き性」の違いを
理解して使い分けをしてみてくださいね～。